



「おひさま  
ジュニア」

さかい 酒井 はるひ 遥陽くん さとう 佐藤 ひかる 輝くん (大平小1年)

わが家の  
アイドル



ママからひとこと  
元気で優しい子に  
育ててね♥

パパからひとこと  
いつも笑顔でいてね!

はんざわ 半澤 あおい 蒼惟くん

※わが家のアイドルを募集中!  
詳しくは総務課広報広聴係  
(☎22-1331)へ

かずとし 和利さん、ともよ 伴枝さんご夫婦の長男(田町)

## 白石の教育効果を高めるために！

### 白石第二小学校が「p4c」を用いた提案授業を開催

6月22日、白石第二小学校で「p4c」を用いた提案授業が開催されました。

「p4c」とは、p=philosophy、4=for、c=childrenの略で、直訳すると「子どもたちのための哲学」。アメリカで生まれた対話的な問いかけを通して「みんなで一緒に課題について深くつきつめる力」を育成するための教育手法です。

提案授業は、4年1組の児童34人と日本におけるp4cの取り組みの視察のために来日した、先進的な研究を行っているハワイ大学の先生など6人も参加して行われました。ルールは、コミュニティーボールを持っている人だけが話すことができ、ボールを持っている人が次に話す人を選ぶことができます。また、話したことを馬鹿にしない、話のじゃまをしてはいけない、無理に話をしなくても良いというルールがあり、安心して対話に参加できるようになっています。

提案授業では、同校が4月から取り組んでいる「二小のおやくそく」の中からみんなと一緒に考えてみたい「問い」を出し合って、対話を行いました。

「問い」には子どもたちの多数決により『「つつしみます」ってどういうことなのか』に決定。子どもたちは自分の思っていること、考えていることを活発に発言していました。ハワイ大学の先生からの質問には、家庭での出来事を例に出して分かりやすく説明をする



▲コミュニティーボールを持って話をする児童

子どもたちもいました。

現在の日本の教育では、思考力、判断力、表現力などの育成が課題となっています。p4cを活用することで、生徒指導上の問題が解決するだけでなく、学び合いが効果をあげ確かな学力の向上にも直結するのではないかと考えられています。

白二小では、p4cが子どもたち一人ひとりの学級での居場所作りに有効であると考えて、全学級で取り組みを始めています。

半沢芳典校長は、「p4cに取り組んでいくことで、新しい時代に必要となる資質・能力を育むための学び、課題の発見と解決に向けた主体的、協働的な学びにつなげていきたい」と力強く話していました。



白石市公式Facebookページ開始！

本市では市政に関する情報を広く発信するためFacebookによる情報提供を始めました。良い記事には、ぜひ「いいね！」をお願いします！

アカウント名 白石市役所

URL <http://www.facebook.com/city.shiroishi>



「しろいし安心メール」の登録方法

「shiro-i@mpx.wagmap.jp」あてに空メールを送信して、案内に従ってご登録ください。二次元バーコード対応携帯電話をお持ちの方は、右のバーコードをご利用ください。



※今月の定例相談は30ページに掲載しています。

